

都留市バイオマスタウン構想(素案)に対する意見募集について

パブリック・コメントを実施します

目的・趣旨

市政運営方針・重点施策に掲げる「人・まち・自然にやさしいグリーンアクションつる」の実現を目指し、都留市バイオマスタウン推進地域協議会で協議を行ってきました。その結果、市民・事業者・行政が協働して市内のバイオマスの利活用推進に向けて取り組む全体プランである都留市バイオマスタウン構想(案)を策定しました。

そこで、市民の皆さんからこの構想(素案)におけるバイオマスタウン形成に向けた利活用方法や目標、取り組み工程などについて意見を募集します。

公表及び意見の募集期間

1月4日(月)～20日(水)

意見の提出方法

次のいずれかの方法により政策形成課までご意見をお寄せください。

○直接提出

○郵送にて提出

〒402-8501(住所不要)

都留市役所総務部政策形成課

○FAX(45)5005

○電子メール seisaku@city.tsuru.lg.jp

※様式は自由ですが、住所、氏名及び連絡先を必ず記入してください。記入がない場合は受け付けられません。

公表の方法

市のホームページまたは次の場所で縦覧できます。

都留市バイオマスタウン構想とは・・・

地球温暖化防止、循環型社会形成、戦略的産業育成などの観点から、地域内のあらゆる関係者の連携のもと、地域におけるバイオマス資源の利活用推進に関する具体的な取り組みや行動計画をまとめた構想です。

構想案の骨格

- 森林資源の木質エネルギー化などによる有効活用
- 耕作放棄地の有効活用
- 廃棄物系バイオマスの堆肥化などによる有効活用
- 廃食用油のBDF化などによる有効活用

バイオマスの利活用目標

市内に存在する廃棄物系バイオマスの90%以上、未利用系バイオマスの40%以上の有効活用を目指します。

バイオマス利活用推進体制

行政、大学、NPO法人、森林組合、商工会、農業協同組合、市民、民間事業者などが連携しながら取り組みます。

取組期間

平成25年度までの5年間を想定しています。

期待される主な効果

- 資源の有効活用による地域活性化
- 森林と地域環境の保全
- 循環型地域社会の形成

○情報公開総合窓口
(行政管理課 法制・安全室)
○政策形成課
○各地域コミュニティセンター
○市立図書館
※情報公開総合窓口、政策形成課、各地域コミュニティセンターは、土日曜日、祝日は縦覧できません。
※図書館閉館日は「図書館だより」のページを参照してください。
問合先 政策形成課 政策担当



バイオマスとは、再生可能な生物由来の有機性資源で化石資源を除いたもののことです。例えば、旧来の薪や炭、太陽エネルギーやバイオエタノールなどがそうです。
バイオマスタウンとは、このバイオマスの発生から利用までが効率的なプロセスで結ばれたシステムが構築された地域のことです。

宝くじの助成を受け、防災資機材を整備しました

(財)自治総合センターでは、宝くじの普及広報活動の一環として、地域防災スクールモデル事業に対し助成を行っています。

この助成を活用して、市は今年度、谷村第一小学校区と東桂小学校区をモデルに防災事業を展開するため、煮炊釜・テント・携帯用無線・蘇生訓練人形などの防災資機材を整備しました。



携帯用無線



煮炊釜



蘇生訓練人形



テント